

I 専門分野の成長戦略

その他の分野

その他の分野の取り組みの概要

■ 保健・医療分野

1. 医療DXの推進

医療DX（オンライン診療やEHR）を推進します。オンライン診療については、デジタルヘルスコーディネーターを配置するとともに、オンライン診療を促進するための機器整備の費用などを支援することにより、どの市町村においても在宅医療やオンライン診療を選択できる環境を整備します。また、EHRについては、国の電子カルテ情報共有サービスが開始されることに伴う影響を注視しながら推進します。

2. 医師、看護職員の育成・確保

高知大学への寄附講座設置、看護教員養成講習会等を実施することで、医療人材の育成を推進します。

また、医師や看護師を志望する学生等に対する奨学金の貸与や医療系職種の魅力を伝える動画の制作等により県内で就業する医療人材の確保を図ります。

3. 医療機関の職場環境等（処遇改善含む）の改善・医師の働き方改革の推進

医療機関向けの相談窓口の設置、アドバイザー派遣及び研修会の開催等を実施することで医療スタッフ全体の離職防止や医療安全の確保を図ります。

■ 福祉分野

1. 介護現場の生産性の向上

ワンストップ型の総合相談窓口「こうち介護生産性向上総合支援センター」による介護事業所への伴走型支援やICT・ロボットの導入支援、協働化やノーリフティングケアの推進などにより、事業所における業務効率化や業務改善を支援し、職員の負担軽減とサービスの質の向上を図ります。

2. 人材育成・キャリアパスの構築

高知県福祉・介護事業所認証評価制度のさらなる普及に取り組み、福祉・介護事業所における人材育成体制やキャリアパスの構築を促進することにより、職員が段階的にスキルアップしながら長く活躍できる職場づくりを推進します。

3. 若い世代に向けた魅力発信（ネガティブイメージの払拭）

将来を担う若い世代の人材確保に向けて、小中高校生への情報発信や福祉関係者と学校が連携した福祉教育を推進します。

4. 多様な人材の参入促進

外国人介護人材の確保や受入体制整備に向けた支援などにより、多様な人材の参入促進に取り組めます。

■ 土木分野

1. 建設業の活性化

新規学卒者の県内就職促進については、児童生徒と保護者へのアプローチとして、出前授業でデジタル化が進む建設業のPRを充実させるとともに、女性活躍に向けた魅力発信や建設ディレクターの導入支援などに取り組めます。

また、ICT活用による生産性の向上については、建設現場のデジタル化をさらに加速するため、県内建設事業者のICT活用の習熟度に応じたモデル工事を設定し、有効性や課題を検証します。このことにより、生産性の向上を図るとともに、若者にとって魅力ある現場環境の創出を目指します。

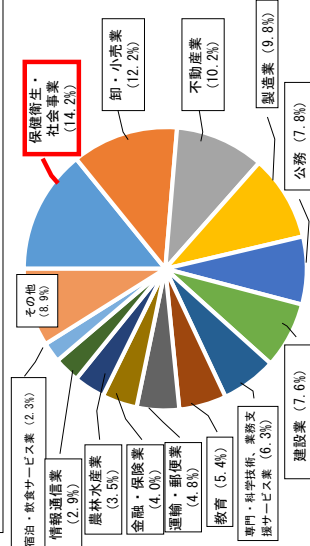
2. 高知新港の振興

高知新港の利活用の促進に向けて、物流面ではベースカーゴの安定確保や新たな外航コンテナ航路の誘致を図ることに加え、さらなる利便性の強化に向けて内航航路の誘致に取り組めます。観光面では、寄港地観光メニューの充実や他県港湾と連携した多様なクルーズの誘致により、西日本太平洋側における国際クルーズ拠点を目指します。

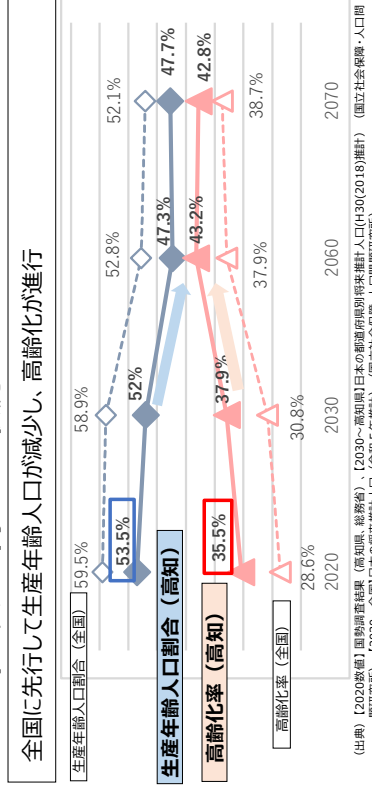
保健医療・福祉分野の取り組みの概要

■ 本県の県内総生産において、最も多くの割合を占める「保健衛生・社会事業（14.2%）」は、いきいきと生活ができる高知の実現のために重要な事業であり、「日本一の健康長寿県構想」とあわせ、産業振興計画においても、生産性の向上や人材の確保、関連産業の創出に向けた取り組みを進める

1 県内総生産の構成比（R4） 出典：県民経済計算
保健衛生・社会事業の県内総生産に占める割合
H20:11.5% ⇒ **R4:14.2%（+2.7%）**



2 生産年齢人口と高齢化の状況



3 医療・福祉・介護人材の現状

超高齢化社会を支える人材は、若年医師不足、看護職員の県外流出、介護職員の不足が課題となっている

○ 若年医師（40歳以下）の状況（R6）

項目	割合
高知	84%
全国	110%

※ H14年を100とした場合

○ 県内看護師養成校卒業者の県内就職率

項目	H30	R6
高知	85.7%	78.1%

○ 介護職員の有効求人倍率（R7）

2.38（全国3.88）

取り組みの展開イメージ

目指す姿

いきいきと生活ができる高知

県民の誰もが住み慣れた地域で、健やかで心豊かに安心して暮らし続けることのできる高知県

日本一の健康長寿県構想 柱Ⅱ

地域で支え合う医療・福祉・介護サービス
提供体制の確立とネットワークの強化

生産性の向上

人材の確保

関連産業の創出

ヘルスケアイノベーションプロジェクト

デジタル技術を活用した医療や健康に関する製品やサービスの事業化を目指す

主な取り組み

生産性の向上 デジタル技術を活用した医療・福祉・介護サービス提供体制の確立

1 医療DXの推進

① デジタルヘルスコーディネーター等による医療DX（オンライン診療やEHR）導入支援、② オンライン診療に必要な機器等の整備費用や看護師派遣費用を支援、③ オンライン診療のニーズ調査から関心がある医療機関・医師向けに提案

2 介護事業所におけるデジタル化導入支援

① ワンストップ型相談支援窓口「こうち介護生産性向上総合支援センター」により、介護事業所のICT導入や生産性向上を総合的に支援
② 介護事業所におけるICT機器・介護ロボット等の導入に要する経費を支援

人材の確保 「働きやすさ」と「やりがい」を実現できる魅力ある職場づくりによる医療・福祉・介護人材の確保

1 医師、看護職員の育成・確保

① 医師や看護師を志望する学生等に対する奨学貸付金制度、② 医療系職種の魅力伝える動画の制作等により、県内で就業する医療人材の育成及び確保を推進

2 医療機関の職場環境等（処遇改善含む）の改善

医療機関向けの相談窓口の設置、アドバイザー派遣や研修会の開催等により、医療スタッフ全体の離職防止や医療安全の確保を促進

3 福祉・介護人材の確保と介護現場の生産性の向上

① 介護現場の生産性の向上、② 人材育成・キャリアパスの構築、③ 若い世代に向けた魅力発信（ネガティブイメージの払拭）、④ 多様な人材の参入促進に取り組む、福祉・介護人材のさらなる確保を推進

産業の創出 ヘルスデック企業の集積による産業創出と地域課題の解決

1 事業化を促進する伴走支援体制の継続

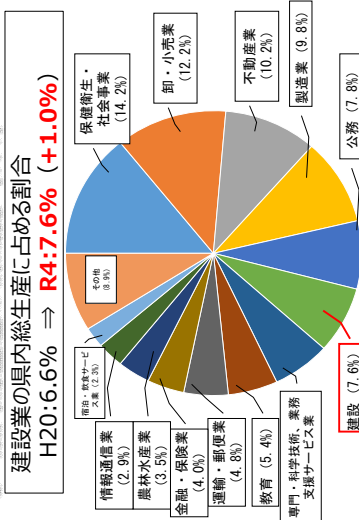
2 プロジェクト支援案件の事業化、定着の促進、

県内外企業と県内学生などとの交流機会の創出

具体的な取り組み例
VR技術を活用した軽度認知症状の改善、
AIケアプラン自動作成システムの開発 など

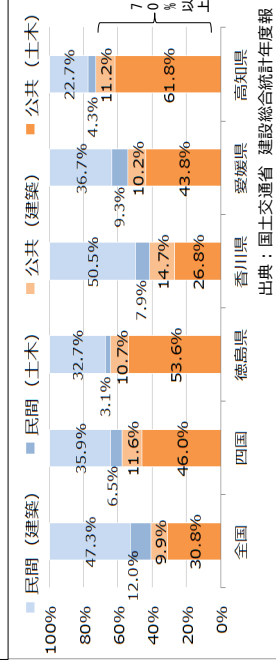
- 建設業は、県民の安全・安心の確保と、地域の活力増進を図り、県民が将来に希望をもって暮らせる県土づくりを推進するうえで、不可欠な産業。
- 建設業が各地域で持続的に発展していくことは、地域の防災力の維持・向上につながるがとともに、地域の雇用を確保し、県経済活性化の下支えにも寄与することから、産業振興計画と連携し、「高知県建設業活性化プラン」において、人材確保や生産性向上に向けた取り組みを進める。

1 県内総生産の構成比 (R4) 出典：県民経済計算

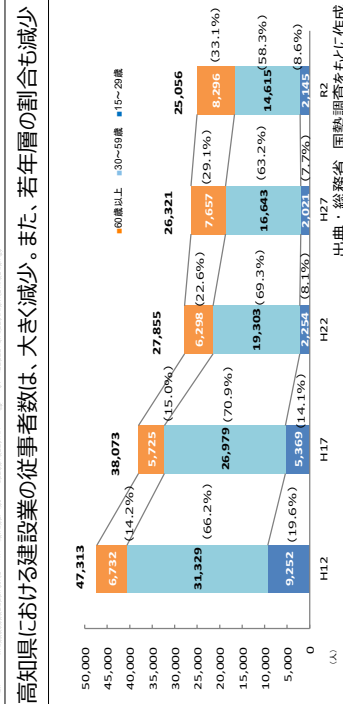


2 民間投資および公共投資の構成比 (令和6年度計)

高知県での公共投資の割合は約70%で、全国や他の四国3県よりも、公共投資の占める割合が多い



3 建設業の従事者数 (年齢階層別)



取り組みの展開イメージ

県経済の活性化

必要な公共事業の実施

生産性向上

人材確保

必要な公共事業の実施

国の「第1次国土強靱化実施中期計画」などの予算を最大限活用し、道路や河川、港湾などのインフラ整備を推進



南海トラフ地震など大規模災害に備えるとともに、地域の産業・観光振興などに寄与

建設業活性化プラン

I 人材確保の強化

- (1) 児童生徒と保護者へのアプローチ強化
- (2) 魅力発信の強化
- (3) 女性や外国人材などの人材確保の支援
- (4) 働きやすい労働環境の整備

II 生産性向上の推進

インフラ分野のD X 推進

R8年度の主な取り組み

1 児童生徒と保護者へのアプローチ強化

- 出前授業における授業内容の充実（デジタル化が進む建設業のPR強化）
- 高知県コンストラクション甲子園などの開催を通じて幅広い世代への魅力発信
- 女性や外国人材などの人材確保の支援
- 建設ディレクターの導入事例及びメリットの周知、女性活躍PR動画の制作・活用
- インフラ分野のD X 推進
- 建設業デジタル化加速モデル事業の実施（建設業のデジタル化による生産性向上とともに、魅力ある現場環境を創出するため、県内建設事業者のICT活用の習熟度に応じたモデル工事を設定し、有効性や課題を検証する）

<労働生産性の全国比 (R4：高知県÷全国) >

